くじ引きによる落札者の決定について

以下の手順によりくじ引きを行い、その当選者を落札者に決定する。

１　くじ引きの手順

（１）　入札参加者は、入札書の「くじ番号」欄に３桁の任意の自然数（０００～９９９）をあらかじめ記入した上で、入札書を作成、郵送する。なお、「くじ番号」欄の各桁の数値が不明確または未記入の場合は、当該数値に「９」を割り当てる。

【くじ番号記入例】

１	２	３

この場合、くじ番号は「１２３」

０	１	２

この場合、くじ番号は「１２」

７		１

この場合、くじ番号は「７９１」

（２）　くじ引きの対象となる入札参加者に対し、入札書に記載された３桁の「くじ番号」の小さい者から順に０からの番号を付ける。ただし、「くじ番号」が同一の者が２者以上ある場合は、当該入札参加者間に付す番号は商号の五十音順とする。

【例】対象となる者が２者の場合：付ける番号は０、１
対象となる者が３者の場合：付ける番号は０、１、２

（３）　入札書（失格者及び無効な入札をした者が提出したものを除く。）に記載された「くじ番号」を合計する。

（４）　（３）により合計した数値をくじ引きの対象となる入札参加者の数で割り、余りを求める。割り切れた場合は０とする。

（５）　（２）により付けた番号と（４）により算出した余りが一致した者を落札者とする。

２　例

入札参加者	くじ番号	くじ引きの対象となる入札参加者に付す番号		
		パターン１	パターン２	パターン３
A	０１２	0		
B	１２３	2	1	
C	１０２	1	0	0
D	３２４	3	2	1
E	３５４	4	3	
合計	９１５	（A，B，C，D，Eの５者がくじ引きの対象となった場合）	（B，C，D，Eの４者がくじ引きの対象となった場合）	（C，Dの２者がくじ引きの対象となった場合）

＜失格者等がいない場合＞

パターン１　：（012+123+102+324+354）÷ 5 ＝ 183 余り 0　→　Aが落札
(183×5=915)

パターン２　：（012+123+102+324+354）÷ 4 ＝ 228 余り 3　→　Eが落札
(228×4+3=915)

パターン３　：（012+123+102+324+354）÷ 2 ＝ 457 余り 1　→　Dが落札
(457×2+1=915)